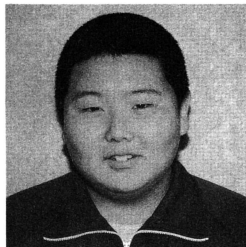




おばあちゃん 家の手伝いもよくやってくれるので助かりま
からの す。将来は誰にも好かれるような人間になって
ひとつこと ほしいです。 リヨさん (69歳)

おばあちゃん
その
語り



榎引 博士くん
(駒元小・6年)

今月の主な記事

- 高松村長就任あいさつ..... 2
- 市油牛の放牧
サテの稚魚放流..... 3
- 臨元小児童ら清掃奉仕..... 4
- 小林兼雄さん優勝旗寄贈..... 5
- 安藤物語..... 6
- おしらせ..... 7
- 健康への道・戸籍の窓..... 8

うちの**おばあちゃん**は、六十九歳です。いつも畑に行つて仕事をしてくれるので、すごいなあと思います。

おじちゃんや、むかし生きていた時、船を出して、沖へ行って、あみをかけてきたり、あみを船の上にあげたりして、魚やかに取りに行っていました。

今では、養ひよくに使つたりするのや、ホタテの貝の真ん中にあなを開けて、そのあなにはり金を通してつなげていへ仕事をしています。

アライグマやウツリガ運んできたホタテの貝がらを、空き地みたいなところに入れていっしょにおろして行き、山積みになっていきます。その出積みになった貝がらをいひ貝に分けながらつなげていくので、たいへんだと思います。

でも、学校へ行く途中その空き地を通るのですが、ホタテの貝のくさにおいがか、ぶんぶんににおつてくるので、くさいなあと思うこともあります。おばあちゃんたちはそのくさいにおいを仕事していても、くさいないのやなあ、と、思ひたりします。

戻れば、そんなおばあちゃんの一生涯めいごとというかんげんさを見ると、えらいなあと思います。

じょうずなおばあちゃん、これからも仕事をがんばつていってね。

就任あいさつ

嫁コに来たくなくなるような村に

市浦村長 高松隆三

「嫁コに来たくなくなるような村づくり、それはくらを豊かにし、教養や文化を高め、一人ひとりが幸せを感じて村をつくることだと思います。」

このことを基本姿勢に掲げて、私は市浦村長に当選させていただきました。

身に余る光栄であると同時に、その期待に応えるため、いま新たな決意に燃えていくところでもあります。

村づくりは、行政のみで出来るものではなく、村民一人ひとりがそれぞれ知恵と行動力を発揮し、協力し合っ

て、その期待に応えるため、いま新たな決意に燃えていくところでもあります。

地域農業システムの確立

村の発展は、村の持てる資源、可能性を最大限に活かす、村民所得の安定確保を図ることにあると思います。

そのためには、村の基幹産業であります農林漁業の振興は、避けて通れない問題であります。

農漁民の誰もがサラリーマン並みの労働時間で、サラリー

マン並みの収入をあげることで出来るような産業に育成していかねばなりません。

これを農業に例をとれば、市場性のある作物の調査研究に努め、土地利用型と施設型との結合農業を基軸に、それに加工、流通の要素を加えた「地域農業システム」を確立し、低コスト化と高品質、安

全性の高い食品を生産することであります。

塩害の影響をもろに受ける臨元、磯松地域の護岸及び清波対策事業の技術的見直しを求めるとも、浅海増殖、磯漁業振興のため、人工海中林造成事業にも積極的に取り組まします。

在宅福祉、地域福祉の強化

人生八十年時代を迎えた今日、ただ生きるだけの、死を待ただけの裏淋しい老後ではなく、本当に余生を楽しめる「健康長寿の村づくり」に努力しないと生きて居ります。

そのためには、社会福祉協議会を充実し、住民総参加で寝たきりゼロ作戦や福祉バンクの創設など、在宅福祉、地

統一地方選挙終わる

統一地方選挙もようやく終わり、四月二十一日に執行された市浦村長選挙で高松隆三氏が初当選し、村議会議員補欠選挙では、秋田谷清司氏と山田弥佐雄氏が無投票当選しました。

市浦村長選挙の結果は次のとおりです。

当選 高松隆三 一、三六七
次点 葛西敬太郎 一、二五七

投票区別投票状況

区	分	当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
第1投票区	男	514 ^A	494 ^A	20 ^A	96.11 ⁵¹
	女	543	528	15	97.24
	計	1,057	1,022	35	96.69
第2投票区	男	120	115	5	95.83
	女	121	118	3	97.52
	計	241	233	8	96.68
第3投票区	男	360	339	21	94.17
	女	417	407	10	97.60
	計	777	746	31	96.01
第4投票区	男	309	300	9	97.09
	女	348	339	9	97.41
	計	657	639	18	97.26
計	男	1,303	1,248	55	95.78
	女	1,429	1,392	37	97.41
	計	2,732	2,640	92	96.63

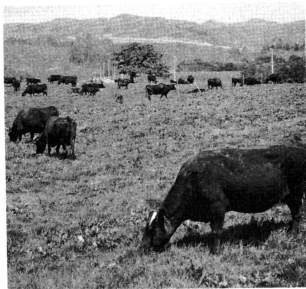
有権者数 二、七三二
投票者数 二、六四〇
有効投票数 二、六二四
無効投票数 一六



放牧を待つ牛たち

市浦牛の放牧始まる 半年ぶりの草原に大はしやぎ

村営牧場5カ所に493頭



半年ぶりに放牧が始まった村営牧場



鼻紋をとる子牛



元氣よく跳ね回る市浦牛

村営牧場で、今年も牛の放牧が始まり、五月七、八の両日、岩井牧場を皮切りに村内五カ所の牧場に、四百九十三頭の黒毛和種の牛が放牧されました。

本村は、昭和三十一年から村の基幹産業として、黒毛和種肉用牛の育成に的を絞り、村営の草地造成と肉用牛の増

産に努めてきました。今では、肉質、色つやとも優れているなど評価も高く、中央市場でも「市浦牛」としての銘柄を確立するまでに成長しています。村では、昭和五十三年から高齢者や出稼き農家を対象に子牛の貸付制度を導入し、飼養農家の拡大に努めています。現在の飼養農家は四十六戸、飼養頭数一、六一一頭（農家肥育、畜産公社含む）で、やや横ばいの傾向にあります。昭和五十五年度から実施された県営草地開発事業、国営等草地開発附帯事業が、平成二年度で完成し、市浦牛の生産基盤となる近代的な公共牧場となり、草地面積は三百二十七ヘクタールとなっています。



稚魚を放流する脳元小の児童たち

冬の間、各農家で飼育されてきた牛が朝早くから次々運び込まれ、予防注射や登録検査などを行ったあと、農家の人たちに見守られながら一斉に放牧され、十月までの六か月間、広々とした草原で牛たちはのんびり過ごします。約半年ぶりに狭い牛舎から解放された牛たちは、元氣よく跳ね回り、若草をはぐり取り、伸び伸びと草原の感触を楽しんでいます。

本村は、昭和五十四年からサケ・マス放流事業を実施していますが、今年も四月と五月の二回にわたって、放流場所の相内川と磯松川に、合わせて二百四十万尾のサケの稚魚を放流しました。

磯松川の上流にある、サケ・マスふ化場）で育てられた体長五・六センチの稚魚は、ぬるみ始めた川の水に勢いよく飛び出し、放流に参加した脳元小学校の児童たちは「大きくなって帰って来いよ」と、稚魚の旅立ちを見送っていました。

大きくなって 帰って来いよ サケの稚魚放流

サケは、一週間から二週間で日本海に出て、約一万キロの北太平洋への長い旅に出ますが、故郷の川を忘れないうちに帰って来るのは三・五年後になり、回帰率は約三％です。また、その年の秋から冬にかけて産卵するサケ（主に四年魚）は、四・五月にアラスカ沖に現われ、六・七月にはアリューシャン列島近海、八・九月にはカムチャッカ沖から北千島近海、九・十一月には北海道及び本州沿岸に現われ、一月までに生まれた川へ戻り産卵します。

ロードミラーもピカピカ

脇元小児童ら清掃奉仕

脇元小学校(鈴木弘校長、児童数五十四名)では、五月十六日同校PTAと村交通安全協会の協力を得て、通学路に設置されているロードミラーなどの交通安全施設の清掃奉仕を行いました。

この活動は、交通安全教育の一つとして、施設の効用を理解させ、正しい安全利用を図ることを目的に行ったものです。

脇元公民館前に集合した児童らは、乙部道線金木警察署交通係長から交通安全施設の効用などについて説明を受けたあと、それぞれの班に別れて国道三三九号の通学路に出て清掃活動を始めました。児童たちは、登下校で毎日

利用している横断歩道のストッパーの塗装や、ロードミラーをきれいにみがき、快い汗を流していました。

さらに、同校では毎年、通学路の清掃や海岸清掃を行っており、地域住民から喜ばれています。



清掃に汗を流す児童たち

人権擁護委員制度をご存じですか

全国人権擁護委員連合会は、六月一日を「人権擁護委員の日」と定め、この日を中心として皆さんとともに一層の人権思想の啓発に努めることを申し合わせております。

なお、差別を受けた人、人間関係にまつわるトラブルで悩んでいる方は、気軽に全国の法務局、地方事務局とその支局や人権擁護委員にご相談ください。相談は無料、秘

密は守られます。

▼市浦村の人権擁護委員は次のとおりです。

相内 良 廣 悦
相内字相内六九の一

電話☎一〇〇八番

成田 永 吉
磯松字赤川三の五〇

電話☎一三五二五番

相坂 智 刀
十三字深津一三二二

電話☎一〇七四番

「火遊びはしません」

十三保育所で避難訓練

日常において、安全に必要なことを身につけて、進んでまわりを守り、安全に行動できる態度を養うを目的に、五月十日午前十時三十分から十三保育所で、園児と市浦消防署職員らが参加して、防災避難訓練が行われました。

訓練は、近くから火災が発生した想定で実施され、園児たちは「火遊びはしません」と誓い合っていました。



避難する園児たち

「農薬危害防止運動」にご協力ください!



散布する際には

使用時期や

農薬は、病虫害や雑草から農作物を守ったり、農作物の安定的生産を図ったりするために、必要不可欠なものです。農業者はもちろん、ゴルフ場のグリーンキーパーなども使っています。

しかし、その取り扱い方を誤ったり、不正粗悪な無登録農薬が使用されたりした場合には、使用者や周辺の人々の健康および環境などに、悪影響をもたす恐れがあります。また、生産された農作物の安全性にも、支障をきたす恐れがあります。

こうしたことがないよう、

農薬を使うことが多い六月に、「農薬危害防止運動」が実施されています。

農薬を使用する際には、必ず決められた使用時期と使用回数を守りましょう。

そして、散布する際は、農薬の容器の表示事項をよく読み、指示に従ってください。

また、体調のすぐれないときは、散布作業は控えましょう。

このほか、農薬による自殺や他殺、誤飲などの事故などを防ぐためにも、専用の保管場所に置き、必ず鍵をかけておくようにしましょう。

また、無登録農薬は、絶対に使用しないようにしましょう。

広がる。国民年金に任意加入していないと障害基礎年金が受けられません。

年金だより

二十歳になった学生の方も国民年金に加入しましょう。

最近の学生のみなさんは、スポーツ活動も活発で、マイカーやオートバイ通学も多くなり、事故も増え、ケガをすることが多くなっています。

二十歳前に事故や病気で障害者になったときは、二十歳から障害基礎年金が受けられます。しかし、二十歳以上の学生の場合は、国民年金に任意加入していただく必要があります。

「親善を深めてください」と優勝旗を寄贈

相内の小林さん



優勝旗を寄贈した小林兼雄さん

「ゲートボールを通して親善を深め、大会を一層盛り上げてください」と、このほど相内の小林兼雄さんから、大会用優勝旗が寄贈されました。

小林あいゲートボール大会（春の陣）において、木村義光教育長から感謝状が伝達されました。

◆「春の陣」成績

- （四月二十三日）
- 相内第一チーム ○勝二敗
 - 相内第三チーム ○勝一敗
 - 相内第四チーム ○勝〇敗
 - 太田チーム ○勝二敗
 - 肥元第一チーム ○勝〇敗
 - 肥元第二チーム ○勝二敗
 - 磯松チーム 一勝一敗
 - 十三第一チーム 二勝〇敗
 - 十三第二チーム 二勝〇敗
- ◆これからの大会日程
- 「夏の陣」 七月三十日
 - 「秋の陣」 十一月十九日
 - 「冬の陣」 平成四年 二月十六日

また、卒業してから国民年金に加入すると、加入期間が短くなり、老齢基礎年金（四十

年間加入で満額）が減額されることとなります。

このようなことから、これまで任意加入とされた二十歳以上の学生も四月から、国民年金に加入することが義務づけられました。

新たに二十歳になる方ももろちん、すでに二十歳を過ぎている方も、住民登録を済ませている市町村役場で国民年金加入の手続きを忘れずしてください。

国民年金に加入後は、第一号被保険者として、保険料の

納付義務が生じます。

しかし、学生の場合は、親と同居、別居にかかわらず、学費や生活費の全部または一部を親に負担してもらっていると思われま

す。学生本人と親の所得が一定基準以下で、保険料を納めることができないときは、保険料の免除を受けることができます。市町村役場の国民年金の窓口でおたずねください。

六十四歳までの方は国民年金に任意加入できます。国民年金では、六十歳以上六十四歳までの人も希望すれば加入できます。

国民年金への加入の届出が遅れたり、保険料の納め忘れがあつて、老齢基礎年金を受けられない人は、任意加入して期間を満たせば、年金を受給できることとなります。

また、資格期間を満たしていても満額受給できない人は、納付期間を増やして、年金額を多くすることもできます。ただし、次に該当している人は、任意加入できません。

- 一、国民年金の老齢年金、通算老齢年金を繰り上げて受給している人
- 一、厚生年金保険や共済組合に加入している人

葛西医師の診療録⑦

今回は、高血圧の話をしましょう。よくある会話をします。

「ちよと血圧が高いようです、ええ、もともと高いんですね。」

「私は、以前から血圧が高いと言われてきましたが、今まで何事もなく過ごしてきたし、今もこの通りびんびんして、ですから今後もこれままで通りで、特に問題はな

いですが、これは重大な誤りです。確かに高血圧性脳症、悪性高血圧といった緊急に血圧を下げなければ危険な状態もありますが、これは頻度としてそれほど多いものではありません。

むしろ大部分の高血圧は、全く症状がなく進みます。そして将来、心疾患、脳卒中といった重大な病気へと進展していく訳です。

高血圧を治療する本当の目的は、これらを防防することにあります。ですから、現在の具合が良いか悪いかというのでは、あまり問題にならないのです。このことは、糖尿病、高脂血症といった他の成人病でも同様です。

現在の健康状態が、将来いかなる事態を引き起こすか、そしてそれを防防するためにどうすればよいか、そのことが一番問題となる訳です。医学が進めば進むほど、この傾向は強まると思われま

す。もしかしたら将来は、遺伝子を調べただけで、将来どのような病気になり得るかわか

るような食事、生活をすべきか、または薬をあらかじめ飲むべきかなど、細かく指導される世の中になるかも知れません。（これはかならずしも、現時点でいずれにしても、現在の症状だけで将来予測することは不可能ですから、なんらかの機会に異常を指摘された場合は、そのことを第一に考えていただきたいと思いま

市浦診療所長 葛西智徳

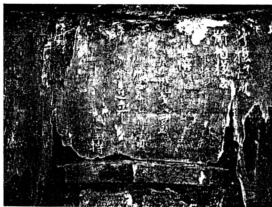


安藤氏の系圖 (15)

中島信雄

前号のまとめ

前号で、「秋田家系圖」の安藤愛秀の時に藤崎から十三に移ったことを述べました。そして、その時を鎌倉幕府の末ごろと考えてみました。もっと詳しくいま



(安倍愛季木像青銘)

すと、元享嘉禎の安藤一族の内輪もめの後、すなわち、幕府の鎮圧軍と安藤叛乱軍とが和睦(仲直り)停戦した嘉暦三年(一二三二、今から六六四年前)の直後のことだと思われま

「秋田家系圖」の愛秀という人は、根本史料に登場する宗季、季久、五郎三郎

といわれた人と同人異名の人物だと考えられます。内輪もめの時に幕府から「蝦夷管領職」に任命された別家筋の人でしょう。

一方本家筋の季長(五郎太郎)や郎從季兼(実はこの人も安藤家系)たちは秋田男鹿方面に移住したもののようですが、はつきりしません。「安藤系圖」の季長の子季綱の項に「出羽国秋田住人」と出ていることから推量されます。季長が内輪もめ中に「蝦夷管領職」の役職を解任されたことは前に述べた通りです。

下国家と上国家

また、津軽安藤家に「下国家」とも根本史料に書き記されています。おそらく、この内輪もめの結果、秋田へ「忘命した同族が「上国」を称したので、「下国」を

名乗ったものと思われるかと、秋田方面の記録でも「上国」の氏が見当たりません。市浦村と友好同盟を結んでいる北海道の「上国」町に地名として残されています。また、一たん秋田方面に亡命した本家筋の一族が更に北海道に渡り、蝦夷の鎮撫に当たり、後他氏を副称(他の姓にかえること)したのでなかろうかと、し

てもない空想も浮かびます。北海道の「下国」は十三湊の下国系統です。津軽安藤氏の別家筋です。もし、私の空想が適中していたとすると、北海道の上国は、津軽安藤氏の本家筋に当たるわけになりますが、崎崎氏の素性がはつきりするまで伏せておくことにします。

愛秀以前の十三湊

以上、「秋田家系圖」の愛秀が藤崎から十三湊に移住した事情や年代について はわかつて載いたと思えます。さて、ここでこの事件の発生以前の「十三湊」の状況がどんな様子であった

かを考えてみる必要があります。つまり愛秀以前の十三湊の状況が「秋田家系圖」ではわからないか、鎌倉幕府執権職にあった北条義時が安藤守に任官した頃に、安藤五郎愛秀を「蝦夷管領職」代官に任命します。そして、貞応二年(一二二二)には十三湊が日本三津七湊、つまり日本の十港の一つに挙げられ、北海における物資および北方からの物資の集散の中心地となつて賑わいます。藤崎との連絡は岩木川が利用されます。ですから、愛秀以前の十三湊は藤崎の対港的役割を果たしていたものと考えられます。もちろん十三湊には藤崎安藤氏の有力な一族が配置された港の管理に当たっていたことに間違いありません。

藤崎退去の理由

第一に考えられますことは、幕府は藤崎以南の殺倉地帯にはその有力な御家人を地頭代職として派遣して来ました。史料には見当た

りませんが多少の軋轢もあつたことでしょう。共に北条家の被官である以上、そのような軋轢を避けたものという意識があつたものと思われま


第二には、北方蝦夷地と上方との交易上藤崎では位置的に万事万端が不自由であつたことが挙げられるのでしよう。「蝦夷管理職」の本来の目的達成のためには十三湊に居住する方が有利であると考へたにちがひありません。

これらのことは有史で詳記したいと思ひます。 ※上掲写真は「秋田のいしえ」第八号に掲載されたものです。福井県小浜の安藤氏の最もゆかりの深い羽賀寺の愛季の背後にきざまれている木像は日の本将軍安倍康季の像とされています。それが誤りであることがわかつたのです。まさに大発見といふべきでしょう。したがって、本紙「安藤物語」16の写真説明「安倍康季」を「安倍愛季」に訂正しました。

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



かんぽ資金まちづくり 写真コンクール作品募集

簡易保険・郵便年金資金の融資でつくられた施設及び簡易保険・郵便年金加入者福祉施設を題材とした写真作品を募集します。(具体的な施設名は、郵便局におたずねください)

1. 作品募集 7月31日まで
 2. 作品の応募先 最寄りの郵便局
 3. 作品の大きさ 一般の部—四ツ切判又はキャビネ判。中学生・小学生の部—キャビネ判以下。
- 応募作品は単写真のみとし、組写真では応募できません。
- 入賞作品については、ネガを提出していただきます。
- 応募作品は、原則として返却しません。
- ※その他詳しいことは、最寄りの郵便局へお問い合わせください。

石油燃焼機器技術講習会 —石油燃焼機器点検整備士—

本講習会は、自治省消防庁、各地区消防機関の指導により、消防関係法令、機器に関するより高度な知識、技術を習得した、正しい設置及び点検・整備を行うことのできる「熟練者」の育成を目的として開催いたします。

- ▷対象者
石油燃焼機器の設置及び点検・整備(販売)業務に従事する方。
- ▷日時
6月14日(金)～15日(土) 2日間と
も午前9時～午後5時40分

- ▷場所
八戸市公会堂
- ▷受講料
講習料・教材費等計16,000円
※詳しいことは、市浦消防署へお問い合わせください。(申込書を配布しています)

車両系建設機械運転技能講習

県では、出稼対策の一環として、出稼労働者を対象とした車両系建設機械運転技能講習を、下記の日程で実施します。

◎小型車両(3t未満)系建設機械運転技能講習

- ▷受講資格
ア、出稼労働者手帳の所持者。
イ、市町村長が推薦した者。
ウ、普通自動車免許を有する者。
- ▷受講申込手続
受講申込書に記入の上、写真(3.5cm×2.5cm)2葉を添えて市町村に提出すること。

申込書は、役場民生課で配布しています。

- ▷日時・場所
ア、学科 8月8日(木) 午前9時～午後5時 青森県建設会館(青森市安方2丁目9-13)
イ、実技 8月9日(金) 午前10時～午後5時 建設業労働災害防止協会実技教室所(十和田市大字伝法寺字大窪2-38)
- ▷受講料
無料(ただし、テキスト代1,550円は受講者負担)
- ▷その他
ア、筆記用具を持参すること。
イ、実技講習の場合は、安全靴(

市浦村の人口と世帯数 平成3.5.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,350	1,351	406
桂川	84	83	22
太田	308	307	94
盛元	638	640	212
磯松	363	362	119
十三	871	866	264
計	3,614	3,609	1,117

長靴)、作業服、雨天の場合雨具を持参してください。

- ▷申込先・申込期限
役場民生課へ6月30日までに提出してください。
※申込多数の場合は、県で受講者を決定します。また、車両系建設機械(3t以上)運転技能講習も実施されますので、詳しくは役場民生課へお問い合わせください。

自動車税は7月1日までに

最寄りの銀行、信用金庫、信用組合、農業協同組合または郵便局から納めてください。
納税通知書の1枚目は納税証明書になりますので、自動車検査証と一緒に大切に保管してください。
※納税貯蓄組合に加入している方は、組合を通じて納めましょう。
五所川原県税事務所
電話34-2111番

調査員が伺います。 ご協力を。

6月下旬に、調査員がそれぞれの事業所にお伺いし、調査票の記入をお願いいたします。ご協力ください。

事業所統計調査 商業統計調査

平成3年7月1日
総務庁・通商産業省 青森県

不正改造車排除運動実施中

運動期間 6月1日～7月31日
交通安全と公害防止のために

しないさせない不正改造!!

飲んで乗る あなたは天国 家族は地獄 交通安全は家庭から
県内の交通事故概況 青森県交通安全対策協議会

4月	累計	死者のうち	飲酒運転による死者	5
発生 515 (528)	2,276 (1,970)	シートベルト着用義務者(着けていなかった人)	17	
死者 13 (10)	35 (37)	非着用者(着けていなかった人)	16	
傷者 595 (646)	2,767 (2,494)	うち、着けていれば助かったと思われる人	1	

()内は前年。累計は1月から
シートベルト しめれる心が 身を守る



▶55◀

8020運動のすすめ

1歯の衛生週間六月四日〜十日

そこで、平均寿命である八十歳の時点で、歯の残存歯数が二十本にしようという運動が提唱されています。

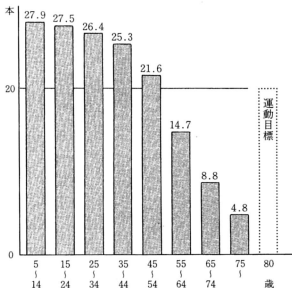
図①は、一人平均残存歯数の状況を示しています。

今年も歯の衛生週間が始まります。さて、生涯を通じて豊かな食生活を過ごすためには、高齢になっても歯を残していることが必要です。

ある研究によれば、二十本位の歯が残っていると、食生活にはあまり支障がないとされています。

従って、この運動の実現のためには、歯の喪失原因となっている虫歯と歯槽のうろたを予防することが必要になってきます。

図① 1人平均残存歯数の年齢階級別推移



家庭でできる唯一の予防方法は、歯みがきです。

一日一回でもいいから、七〜八分かけて歯と歯の間、歯の表面と裏面、前歯と奥歯を徹底的にみがくことです。

実行すると、歯ぐきから歯ぐきが引き締まった感じになります。

また、口の中がさっぱりして爽快になります。おいしいものを生涯自分の歯で食べられるようになります。

保健婦です どうぞよろしく



木村美穂子さん(左)と外崎澄子さん

4月から市浦村でお世話になっています保健婦の木村と外崎です。海と山と湖に囲まれた豊かな自然環境の中で、皆さんが健康で長生きできるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。相談したいことや要望などがありましたら気軽に連絡してください。



現代の子は

あこの発育が悪い

六歳臼歯が生える頃には、子供のあごは大人の八十％位まで成長するのが普通です。

最近の子供はあこの発育が未熟なことが多く、この調査結果が示されています。

この調査は、昨年北五地区の三歳児健診の時に実施されたもので、市浦村、小治村を除いた五市町村、五百五十名

の健診結果をまとめたものです。これによると、北五地区の乳幼児には虫歯をはじめ、歯肉炎や不正咬合がかなり高い頻度でみられることが明らかとなりました。

中でも、歯とあごの骨の不調和による咬合の異常は、都市部の幼児より高い頻度であることが知られました。

また、先の歯肉炎や不正咬合と密接に関係する食生活に関する調査では、乳児期からすでに食行動の乱れが認められたと報告されています。

やはり、食生活の始まりである離乳食のすすめ方に問題がありそうです。

- 三浦 純平(相内) 園明
- 西和 祐太郎(相内) 兵吾
- 葛西 大毅(脇元) 寛
- 中山 満里奈(脇元) 広之



ご結婚

窓の戸籍



- 柏谷 行彦(相内)
- 鹿田 富士美(千葉)
- 三和 寿彦(安城)
- 羽生 正利江(安城)
- 藤田 純道(磯松)
- 大石 尚子(小治)
- 木津野 勇二(相内)
- 佐藤 雄美(相内)
- 古川 浩一(中里)
- 三和 未佳(脇元)
- 中島 孝弘(十三)
- 林崎 裕子(静岡)
- 三崎 暁(相内)
- 種山 良民(黒石)
- 福士 英哉(中里)
- 秋田 順直(相内)
- 小松 順一(群馬)
- 葛西 奈緒子(脇元)
- 山形 敏光(脇ヶ沢)
- 三上 順子(脇元)

お誕生



- 三和 健太(相内) 勤
- 橋引 貴志(脇元) 和雄
- 赤坂 亜季美(十三) 晋
- 中井 霞(十三) 研司

おくやみ

- 中井 忠一(十三) 79歳
- 鳴井 海雄(相内) 82歳
- 三浦 鐵雄(相内) 78歳
- 木村 ツエ(相内) 78歳
- 吉田 鉄雄(相内) 69歳